

<p>△産業宣教：237 と第 1、2、3、RUTC の答え 24 時空を超越した産業人(創 6:4-5)</p>	<p>△核心：第 1、2、3RUTC の答え 24 7 大の旅路 - 三位一体の神様の臨在(使 1:1、3、8)</p>	<p>△レムナント伝道学：伝道者の生活と第 1、2、3RUTC の答え 24 10 の奥義とレムナントが見る世の中の目(使 1:3)</p>	<p>△散らされた弟子たち/237、5000 を生かす第 1、2、3RUTC の答え 24 専門の働きを通した伝道(使 18:1-4)</p>
<p>時空超越-重職者産業人が受けなければならない最初の答え 創 6:4-5 未信者はネフィリム運動で時空超越して世の中を掌握した。いまは私たちの次世代を通して変えなければならない。それゆえ、Remnant 運動をするのだ。</p> <p>□序論_時空超越</p> <p>1. 状態-WITH、Immanuel、Oneness 「霊的集中」(24) 私がどんな状態にあるかだ。実際に今、神様がともにおられることを味わうことが時空超越だ。これを指して 24 と言う。今回だけは宣教師のために霊的集中をさせてあげなさい。</p> <p>2. 味わう(25)-御国 3. 答え-永遠</p> <p>□本論_簡単なこと(人超越=時空超越=御座の祝福)</p> <p>1. ネフィリム時代-ノア</p> <p>1) 創 6:1-5 ネフィリム-サタンに捕えられたこと、強い者と悪い者が世の中を掌握</p> <p>2) 創 6:5-8 神様の嘆き</p> <p>3) ノア-時空超越する力を持つノア</p> <p>(1) 義人-救われた人 (2) 同行-この(序論)祝福を味わったこと (3) 創 6:14、18、20 あなたとあなたの子孫、いのちを救うために箱舟を作りなさい。</p> <p>2. カルデア時代-アブラハム</p> <p>1) 創 11:1-8、創 12:1-3 バベルの塔の背景から離れなさい。みことばを与える。あなたの子孫によって、地のすべての国々が福音を聞くようになるだろう。</p> <p>2) 創 13:18 契約を握って 24、25、永遠が見える時まで祭壇を築きなさい</p> <p>3) 創 22:1-19 次世代に確かに伝達した。</p> <p>3. 偶像時代-オバデア</p> <p>1) I 列 18:1-15 預言者 100 人、カルメル山の霊的戦いに橋渡し</p> <p>2) I 列 19:18 7 千弟子 3) II 列 6:8-23 ドタンの町運動に最も影響を与えた人物</p> <p>4. 属国時代-産業人</p> <p>1) 使 18:1-4 ただ福音にいのちをかけたプリスカ夫婦に、パウロに会うようにされた。 ロマ 16:3-4 いのちの危険を冒した。</p> <p>2) ピレ 1:1-25 福音を受けた泥棒オネシモを受けなさい。</p> <p>3) ロマ 16:23 すべての伝道者の家主 ロマ 16:25-27 世々にわたって長い間隠されていたことを、永遠にくださる</p> <p>□結論_挑戦</p> <p>1. 問題、葛藤、危機-神様の絶対計画を見て挑戦</p> <p>2. 判断 x-神様のみこころを分別 3. すべてのこと-未来準備 △重職者の祈りの課題-「私は教会と牧師、すべての伝道者の家主になる」</p>	<p>全世界の教会が完全に力を失っていると次世代がさらに問題になる。答えは簡単だ。</p> <p>伝 12:11、イザ 22:23 ひとりであるとき、出会ったとき、みことば刻印→すべてのこと解決</p> <p>誤った刻印を変える道-伝 12:11、イザ 22:23</p> <p>先に刻印(使 9:1-15)-福音刻印がうまくできない理由</p> <p>創 22:1-9(雄羊、国々)-確実な福音刻印→100 倍祝福、泉の根源、レホボテの祝福</p> <p>正しい刻印→ひとりで、フォーラム、みことばの学びをするとき、みことば刻印の時間がなければならない。</p> <p>□序論</p> <p>1. 7 大の旅路</p> <p>1) 三位一体(御座、時代) - 「三位一体の神様が私たちとともに」が刻印されなければならない。三位一体神様の御座の祝福だけ祈れば 3 時代を生かす力が与えられる。</p> <p>2) 当然、生き残る 10 の奥義</p> <p>3) どんなことにも揺れない 10 の土台</p> <p>4) 5 つの確信 5) 時代を変える 9 つの流れ</p> <p>6) 生涯の答えである 62 の生活</p> <p>7) 教会-私の最後の旅路は教会と礼拝を通して世界福音化すること</p> <p>2. 見える絶対-いやし、サミット 3. 結論-インマヌエル(証人)</p> <p>□本論</p> <p>1. 根源 [集中祈り]-三位一体の神様が私に臨む根源的な答えと力を持って集中祈り</p> <p>1) 創 1:27 2) 創 2:7 3) 創 2:17-18 私の中にあることに集中</p> <p>[24]-呼吸で集中</p> <p>2. 歴史 [3 つの流れ]-今でも成り立っているその流れを握らなければならないこと</p> <p>1) みことば 2) 救い(伝道) 3) 祈り</p> <p>3. 特別 [時刻表]-特にともにおられるという約束</p> <p>1) マタ 28:16-20 天と地のいっさいの権威を持って弟子とする人に</p> <p>2) 使 1:1 復活されたキリストに会ったとき、イエスの御名で祈って命令するとき 使 1:3 神の国が説明されるとき 使 1:8 単なる聖霊ではなく、ただを悟ったとき △7 大の旅路は聖書で刻印させなければならない最も核だ。</p> <p>3) 使 2:1-13 力の働き、使 2:17-18 未来、使 2:41-47 3 千弟子と毎日</p> <p>□結論_挑戦</p> <p>1. Nobody 2. Nothing 3. 絶対不可能 ここにすべての未来がある。世の中の人々が言うことでは世界福音化は不可能だ。 △237、5000 種族へ行く道を発見しなければならない。人生をかけた祈り旅行を始めなさい。</p>	<p>□序論_集中時代(瞑想-黙想) 瞑想運動か、黙想か?</p> <p>一万時間の法則</p> <p>40 年、40 日、使 1:3、2:1、2:42、2:46-47</p> <p>24、25、00</p> <p>△一万時間集中するのは、ものすごい答えが出てくる。40 年、40 日間、神の国のことを、使 2:1 10 日の間「五旬節の日になって」、使 2:42 「礼拝のとき、聖日」、これが現場で「毎日家で」24、25、00 は時空超越する答えの話だ。</p> <p>□本論</p> <p>1. 三つの国</p> <p>1) 世の国、無視することはできない(使 1:6-7)</p> <p>2) さらに重要なのは見えないサタンの国(エペ 2:2、6:12、ヨハ 16 章、II コリ 4:4-5、黙 12 章)</p> <p>3) イエス様は私たちが行かなければならない、背景になる、この地に成り立つ神の国の話だけをされた</p> <p>2. 世の中分別(マタ 6:33)-世の中、人を判断せずに分別しなさい。</p> <p>1) 現実 2) 事実 3) 真実 4) 霊的事実 5) 神様のみこころ</p> <p>3. 霊的分別-霊的な力を得るように分別しなさい</p> <p>1) 祈り 2) 学業 3) 産業</p> <p>△祈り、学業、産業が 24 なれば 25、00 はついてくる</p> <p>□結論_挑戦</p> <p>1. 聖書-RT 7 人、正確に見て神様の絶対計画に挑戦しなさい。</p> <p>2. 教会-未来、教会のすべての問題は未来を準備すること</p> <p>3. 私-御座、私の弱い姿を見ながら悟ること、福音の中にある御座の力</p>	<p>□序論</p> <p>1. 選択</p> <p>1) Nobody 2) Nothing 3) 絶対不可能 △弟子に会えば知らせなければならない選択</p> <p>2. 教会(宗教)、3 団体の後遺症</p> <p>すると福音がない教会、宗教団体、3 団体の後遺症が見える</p> <p>1) 奪われたこと 2) 捨てられたところ 3) 間違ったこと</p> <p>△奪われたこと、間違ったこと握ったことによる後遺症で、捨てられたところに行きなさい。</p> <p>3. 分別</p> <p>1) 死角地帯 2) わざわい地帯 3) 黄金地域 △できない所に行くとき、分別しなければならない部分</p> <p>運命 X 運命を変えなければならない。</p> <p>□本論</p> <p>1. 100%(死角地帯) 100%奪われたところが死角地帯 ネフィリム-文化、経済</p> <p>3 団体のネフィリム運動がすべての文化と経済をみな持っていった</p> <p>2. 専門教会(わざわざ地帯) わざわざ地帯になった専門教会 服、皮なめし、紫布、領主、財務 このことが世界福音化の道</p> <p>3. 専門家(黄金地域) 専門家 1 人が分かってみれば黄金地域 使 13:1-4、16:6-10、19:1-7 現場を先に見る 使 13:5-12、16:16-18、19:8-20 誰もできないことが出てきて、運命変更 使 17:1、18:4、19:8 学院福音化するしかない</p> <p>証人-当然、必然、絶対 △間違ったことで当然、違うことで必然、できないことで絶対の証人</p>

△区域メッセージ エデンの園(創3章)事件と私の24(創3:4-5、15、ガラ2:20)	△聖日1部礼拝 ホサナ(マタ21:1-11)	△聖日2部礼拝/神殿建築献身礼拝 主が願われる神殿(マタ21:12-17)
<p style="text-align: center;">妨害 エデンの園 宣教 肉眼 (創3章) 霊的な目</p> <p>△アブラハムに、わたしが示す地に行きなさいと言われたが、70%が山、強 大國に包まれてイスラエルはいつも苦しめられる。エデンの園でサタン の誘惑を受けて神様を離れる。すべての条件が問題になる創3章の事件 が起きた以降、肉眼が開いて、霊的な目は暗くなった。肉のことで霊 的なことを暗くしてしまう。それゆえ、創3章を分かなければ、周辺 の国がすべて妨害、分かれればすべて宣教の道</p> <p>□序論 1. 創1:27 -神のかたちを人に与えられた。これが動物と違うこと。これが 死んでしまうから、動物に劣るようになってしまった 2. 創2:7 -私たちの中に霊を生かすいのちの息を神様が吹き込んでくださ った。祈りとみことばは、創2:7を生かすこと 3. 創2:1-18 -本来のこと、エデンの園の祝福を回復。これより大きいこと は、神様が私たちとともにおられる祝福を回復すること</p> <p>□本論 1. サタン-エデンの園でサタンが人間を誘惑した 1) 原罪-サタンの目的が神様を離れるようにさせてしまうことだが、こ れが原罪 2) わざわい-わざわいの中に陥るようになるサタンの本業に人間がだま された 3) 地獄(背景) -地獄の背景の中にあると、地獄のように生きて地獄に行 く。しかし、私が生きていればみな地獄でも大丈夫で、それが宣教の 門 2. キリスト-神様がキリストを送って最も重要なことを解決 1) 創3:15 -キリスト来られて創3章、サタンの権威を打ち破った 2) 真の預言者、真の祭司、真の王-キリスト来られて神様と私たちを会 わせる真の預言者として、わざわざに勝てるように真の祭司で、サタ ンと地獄の権威に勝つことができる真の王として、神様が送られたこ と 3) イエス キリスト-この職分を旗らされたイエスがキリスト 3. 24 -この祝福を24味わうのだ。24味わう方法 1) みことば-みことばを私の考えで見ずに神様の考えで 2) 祈り-祈りを私の考えで祈らずに神様が願われることで 3) 伝道-伝道を私のことを言うのではなく神様のことを △このようにすれば、私たちがいる存在自体が祝福で光が現れる。この祝 福を味わっていれば、私たち自体が光だ。キリストが与えてくださった 光を照らすのだ。 □結論 霊的戦い 私たちが結論的に霊的戦いをする勝利者だ。勝った戦いにキリストの旗を さす宣教師だ。悪魔は戦いの対象にならない。これが宣教だ。</p>	<p>□序論_子どもの主日 1. 気を付けること 1) ローマ人が次世代に残したこと-戦争 2) ユダヤ人が次世代に残したこと-流浪民 3) 真のユダヤ人少数者が世界を生かした 2. 次世代に何を伝達しなければならないかが重要 1) 先祖に受けた創3:15 契約を握って世界福音化の夢を見たヨセフ 2) ヨケベデはこの契約をモーセに伝達。このモーセがエジプトに 勝ってイスラエルを率いて出てくるとは誰も思わなかった 3) イザ7:14 イザヤの話をわかったダニエル、エステルがどうなっ たのか! △崩れた次世代も神様のみことば一言で変化。みなさんが撒いて おいたみことばが、時間が過ぎて次世代を立ち上げるようにさ せる 4) 最高知識人パウロにホサナの福音が伝えられて、この福音を持 って会堂に訪ねて行った(使17:1, 18:4, 19:8) 5) この会堂の福音を持つRTがローマを変えた 3. ホサナに対する錯覚をいやすべき 1) ダビデの子孫として、すでに創造の時からおられた 2) 大工の息子だと錯覚。しかし、受肉され、すべてを完成された 3) 復活されたキリストが、今、私たちとともにおられるので、イ エスの御名で祈って、権威使用 4) イエス様が逃げて泥棒のように来られると錯覚。私たちとい つともにおられるが再臨の主として、王として、審判の主とし て来られる</p> <p>□本論_ホサナ(私たちが救うために主が来られたという意味) 1. じっとしていても神様がすべてをくださる答えがなくしたホサナの 祝福を回復する者だ。 △ヨセフ、モーセ、サムエル、ダビデ、オバデヤ、エリヤとエリシ ヤ、初代教会がのががしてしまったホサナを回復したが、神様はすべ てを持って来られた 2. 力がなくても世界変化させる祝福がホサナの祝福を継続する者だ。 △RT7人とヘブ11章の人に無条件に答え。それがみなさんだ。困 難、問題、葛藤があるとき、福音を味わえば終わりで。 3. 滅亡が来ても滅びない答えがホサナの祝福を伝達する者だ。 △ろばに乗ってエルサレムに入城するイエス様に上着を道に広げて 「ホサナ!私たちを救ってください」と叫んだ人々は、イエス様が 誰なのか分かった △「ただ福音」という次世代を作って立てる宣教師が必要 △パウロは世々にわたって長い間隠されていたことと、とこしえまで 栄光をささげることを私たちに与えられたと告白して「私の福音」 と話した。これを総督とローマに伝達したが、結局、ローマ生かす 道となった □結論_だまされてはならない。この契約の中に入って来たが、最も 難しかった家が最高の証人の家庭に、最も無能な神学生が世界福音 化する人に、最も迫害を受ける人生だったが、世界福音化の座に いる。</p>	<p>イエス様が世界を生かすためにガリラヤの人々を呼ばれた。立派な人々は状況に従っ て福音運動しない可能性が大きいためだ。 □序論_サタンが攻撃する教会 1. むち-滅亡/動物、お金、売買:イエス様が教会に来られてむちを振り回された。こ の神殿は滅亡と言われた。教会がパワーを育て、世間的なことを作ることを神 様を嫌われ、サタンは好んで攻撃する。動物を売って、お金を交換して、売買する ことのために三つの庭をなくしたためだ。 2. ネフィリム運動-福音なしでネフィリム運動する教会は必ず滅びる。 1) 神殿 2) フリーメイソン 3) 会堂 4) 瞑想-センター 5) Temple-templustey △偶像崇拜すれば暗やみ勢力によって死ぬので、してはならないと聖書でだけ話して いる。 3. 結果 1) 1, 2, 3 -ソロモンが作った第1神殿をバビロンがなくした。帰ってきて作った第 2神殿はヘロデがなくして第3神殿を作った。イエス様がむちを振り回した神殿 だ。AD70に悲惨なことが行われた神殿だ。 2) ヨーロッパ 3) アメリカ-教会が崩れて教会堂は売れ始めている □本論_御座の力が臨む教会 △今回の宣教大会は残った1世代の宣教師を通して、2世代が確立される宣教大会に ならなければならない。 1. 13節-いやし、祈りの庭:いやさなければならないから祈りの庭を作りなさい 1) 精神病者時代 2) 霊的問題時代 3) 不治の病時代がくる。 2. 14節-異邦人の庭:異邦人の庭を作りなさい 1) TCK -プラットフォーム、見張り場、アンテナを作りなさい。 2) 多民族-私の教会:多民族がきて、ここが私の教会だとなるように、多民族教 役者、多民族働き人、多民族長老を立てなさい。 3) 3団体、ムスリム-237:3団体、ムスリムが237を完全に掌握した。彼らをや す神殿を作りなさい。 △「私の人生をどのように神殿のためにかけるか」祈ってみなさい。 3. 16節-子どもの庭:子どもの庭を作りなさい。 △私の生涯に神様の契約を植えるというチーム構成を始めなさい。 1) いやし 2) サミット 3) 資料(場所)-実際に見ることができる資料があり、祈り ができる場所 □結論 1. 小さい学校 2. 多民族就職 3. 専門家の場 4. 人材学校 5. いやし学校 6. 休憩所 7. 駐車空間 △人々が来るしかないようにしなさい。来てこそ、みことばを聞く。時代に次世代が 歩いて行くべき足跡を残して行くのだ。</p>